

平成24年1月13日
国土交通省東北地方整備局塩釜港湾・空港整備事務所
宮城県土木部港湾課
仙台国際貿易港整備利用促進協議会

「仙台塩釜港高砂コンテナターミナル2号岸壁供用 ・北米航路再開式典」を開催します

仙台塩釜港高砂コンテナターミナルの業務は、高砂1号ふ頭において昨年6月から再開していましたが、高砂2号ふ頭については、平成24年度末の完全復旧を目標に国と県が災害復旧工事を進めているところで、今般、岸壁延長330mのうち270mが使用可能となったほか、ガントリークレーン1・2号機に加えて4号機が稼働可能となり、本日13日より供用を再開いたします。

つきましては、高砂2号岸壁の供用再開と※既にお知らせしております今月22日に再開される北米西岸／東南アジア航路の仙台塩釜港への寄港を記念して、下記のとおり式典を開催いたします。

※平成23年12月22日 宮城県土木部港湾課発表

記

○ 式典の内容

- 日時 平成24年1月22日（日）12時30分～13時00分
ただし、第一船入港にかかる報道公開を10時30分（予定）から行う。
- 主催 国土交通省東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所
宮城県
仙台国際貿易港整備利用促進協議会
- 場所 仙台塩釜港（仙台港区）高砂コンテナターミナル内
- 内容 岸壁供用及び大型コンテナ船入港歓迎セレモニー
（第一船の入港及び荷役の様態を報道公開いたします。）

○ 取材の申し込み方法

高砂コンテナターミナルは保安対策上、立入制限区域となっております。現場での取材を希望される場合は、事前登録が必要となりますので、平成24年1月18日（水）までに別紙により宮城県土木部港湾課あてに申し込み願います。

なお、現時点では、入港時間については未定ですので、取材の申込みのあった方に対し、集合場所・時間等を前日にお知らせします。また、既にお知らせしております北米航路再開に関して取材を申し込まれた方については、お手数ですが、改めて申し込み願います。

《発表記者会；宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会》

【申し込み・問い合わせ先】

宮城県土木部港湾課 振興班 川越主幹、三浦主任主査
電話：022-211-3221
FAX：022-211-3296

○ 式典会場ご案内



○ 高砂2号岸壁(水深14m)の復旧状況



○ 寄港予定の大型コンテナ船



< 船舶諸元 >

船長 約300m

喫水 14m

総トン数 約75,500t

積載能力 6,200TEU*

*TEU (twenty-foot equivalent unit): 20フィートコンテナ (5.9m × 2.3m × 2.3m) を 1TEUとした単位



仙台 (日) → ロサンゼルス → オークランド

→ 東京 → 名古屋 → 神戸 → 高雄 → 蛇口 →

カイメップ → レムチャバン → シンガポール

→ 神戸 → 名古屋 → 東京 → 仙台 (日)

宛 先：宮城県土木部港湾課振興班

FAX番号：022-211-3296

取材申込書

案件：「仙台塩釜港高砂コンテナターミナル2号岸壁供用・北米航路再開式典」

日時：平成24年1月22日（日）午前10時30分（予定）から

※ 船舶の入港及び荷役開始時刻等については、取材の申し込みがあった方に対し、集合場所等も含め前日までにお知らせします。

場所：仙台塩釜港(仙台港区)高砂コンテナターミナル内

会社名	氏名	使用車両（ナンバー）

※連絡先（TEL）：

（FAX）：

（e-mail）：

※ 前日、1月21日（土）に集合場所及び時間をお知らせいたしますので、21日（土）に連絡が取れる連絡先を記入願います。